

[耳鼻いんこう科]

[研修の目標]

耳鼻咽喉科領域の基礎的な知識と診察手技を修得し、プライマリーケアを含む耳鼻咽喉科の基礎的診療を行う能力を身につける。また、耳鼻咽喉科を目指す医師は、日本耳鼻咽喉科学会認定専門医制度による「研修目標」に従う5年間の研修のうち初期研修プログラムであり、耳鼻咽喉科・頭頸部外科の診断、治療、基本的手術手技を修得する。

[研修指導医]

荒井真木(耳鼻いんこう科部長) 日本耳鼻咽喉科学会専門医

[研修コース]

各科ローテートの一環として、一般臨床医に求められる耳鼻咽喉科疾患の基本的な診察知識・手技を修得する3ヶ月コースの研修を予定しているが、希望に応じて研修期間を変更できる。

[研修指導体制]

外来において問診、視診、触診ほか、検査結果から病態を理解し、耳鼻咽喉科的診断技術を身につける。また、鼻出血、めまいなどの救急疾患に対応する。入院患者の治療に従事する。各種疾患の治療方針を学び、全身、局所管理をおこなう。また、助手として手術につき、手術の基本及び術後処置を学ぶ。

[研修内容および到達目標]

下記の項目について研修をおこない、臨床的な判断および処置ができるようになる。

外来	検査	入院
咽頭鏡検査	純音・語音聴力検査	一般医学
脳神経検査	チンパノメトリー	救急治療
ファイバースコープ	平衡機能検査	術前術後処置
X線、CT、MRI	ABR	めまい、難聴
細菌、組織検査	鼻汁好酸球	症例
静脈性嗅覚検査	顔面神経検査	悪性腫瘍
一般耳鼻咽喉疾患の診断	内耳機能検査	放射線治療
外来救急処置	アブミ骨筋反射	化学療法
外耳道・鼻腔異物除去	温度眼振検査	ターミナルケア
鼻出血止血処置		
扁桃周囲膿瘍穿刺		
鼓膜切開		